



わだいき



「花」と「くじら」絵画コンクールが開催されます



チーム花鯨が主催する「花」と「くじら」絵画コンクールが10月23日(木)から11月5日(水)まで、和田コミュニティセンターで開催されます。色とりどりの花畑を泳ぐ鯨や、海面からジャンプする躍動感ある鯨など、「花」と「くじら」をテーマにした個性豊かな作品が500点展示されます。

恒例となった、優秀賞、優良賞などを決める一般来場者による人気投票も実施されます。

ぜひ、力作の数々をご覧ください、お気に入りの作品に一票をご投票ください。

尚、11月15日(土)に嶺南中学校体育館で開催される「南房総市教育の日」に今年度の「花」と「くじら」絵画コンクールの入賞作品が展示される予定です。

毎年、たくさんの方が見学されています



なみはらくじらパーク マルシェ&フリマで賑わう



なみはらくじらパークの開園を記念するオープニングフェスティバルの3回目が9月28日(日)に開催されました。会場では、さつまいもや玉ねぎ、米などの農産物、服やバッグ、日用雑貨、ハンドメイド品などを販売するマルシェやフリーマーケットの他、企業ブースやキッチンカー、市民ボランティア団体など、総勢40店以上が出店しました。さらに、歌やダンスのパフォーマンス、子ども達が遊べるシャボン玉コーナーなども設置され、大勢の人で賑わいました。

町内在住の男性は、「小学校跡地が立派な公園となり、さらにこんな大きいイベントが開催され、地元民として嬉しい。人が集まるイベントは町に活気が出ていいね!」と喜んでいました。



現代産業科学館に鯨資料を貸し出しました

和田地域センターに併設される「鯨資料館」には、世界各国より収集した鯨に関する貴重なコレクションが多数展示されています。今回、このコレクションより数点を、千葉県立現代産業科学館(市川市)の企画展「うみ・千葉めぐり～魅力あふれる海の仕事～」開催に向け、貸し出しました。

同館は子どもから大人まで、だれもが産業に応用された科学技術を体験的に学ぶことができ、常設展示のほか、さまざまな実験や工作教室などが楽しめる科学館です。

今回の企画展では、変わり行く県内漁業の様子として、捕鯨に使われていたグリーナー砲や銚(もり)、鯨解体に用いた大包丁、小包丁の他、鯨の歯やヒゲなど、さまざまな鯨資料館のコレクションが展示される予定です。

興味のある方、足を運ばれてはいかがでしょうか。

- ・期 間 令和7年10/11(土)⇒11/30(日)
- ・開館時間 9:00～16:30
- ・場 所 千葉県市川市鬼高1-1-3
- ・休 館 日 月曜日(祝日の場合は翌平日)
- ・入 場 料 一般500円/高校・大学生250円
中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方と介護者は無料



●詳しくは、現代産業科学館のHPをご覧ください。👉



安房国における三原郷の歴史と環境を学ぶ

歴史の郷へ応援団三原が主催する「第6回三原郷歴史探究会」が和田コミュニティセンターで9月28日(日)に開催されました。

初回より講師を務める元館山市立博物館館長の岡田晃司氏が「安房国における三原郷の歴史と環境」をテーマに講演し、市内外より50人の参加がありました。

講演では、安房国朝夷郡の中で、三原川が形成した谷に奥深く展開する三原郷の地理的立地や生活環境から、縄文遺物包蔵地、やぐらなどの古代～中世の遺跡、真田氏と正木氏にまつわる伝承・史実を基に、三原郷の歴史的特性などをひもとき話されました。

参加された方は、「縄文・弥生時代の遺跡の集中地域が各所郷を作り、住みやすい場所として繋がっていて面白い」「正木氏の菩提寺正文寺、日蓮寺、妙達寺、三原城、城山、とうしろ台城などの場所が正木氏、真田氏、境井氏、東金酒井氏、鈴木氏など身近な所との繋がりをあらためて知ることができ、良かった」など感想を述べていました。

尚、会場にはとうしろ台城跡から出土した土器・石器片、麓で発見された縄文海進を示す地層から約7000年前の海底の堆積物、生痕化石、礫石など露頭の写真や、「お万の方」ゆかりの脇差の写真や文章も展示され、参加者は興味深そうに見ていました。



👉興味のある方は団体のHPをご覧ください

なごみ うたごえ仲間

みんなで一緒に歌いませんか！参加お待ちしております♪

- 日 時 10月26日(日) 13:30～14:30
- 場 所 和田コミュニティセンター1階 喫茶室
- 参加費 200円 飲物は各自で持参ください
- 講 師 栗山貴成さん・洋子さん
- 問合せ 080-5545-8315(岡田) ※予約不要

